

永沢寺花しょうぶ園

はんしん@yos
写真・文 山田哲也

5

梅雨入りしても、雨が降らない
近畿地方。三田市の「永沢寺花し
ょうぶ園」でハナシヨウブが見ご

ろと聞いて、撮影に出かけた。
同園は、過疎対策と地域おこし
を兼ねて、地元農家が出資し、75

年に開園した。約3万3000平
方メートルの敷地に約650種、300
万本のハナシヨウブを栽培してい
る。
標高550メートルの高地のため、開
西で開花時期が一番遅い。昼夜の
温度差が大きく、花弁が色鮮やか
なのも特徴だ。
ハナシヨウブは、アヤメやカキ
ツバタと似ている。優劣が付け難
い例えで「何れ菖蒲か杜若」と

言われるが、見分け方は簡単だ。
花びらの付け根が黄色いのがハナ
シヨウブ。編み目の様な模様があ
るのがアヤメ。カキツバタは付け
根が白い。花びらを見れば判別で
きる。
同園には「そば道場」も併設さ
れている。ハナシヨウブを見てか
ら、そば打ちに挑戦しよう、楽
しみにしていたが、花しょうぶ園
の期間中は休みという。

「何れ菖蒲か杜若」

また、同市内のJR福知山線相
野駅近くの「しい菖蒲ランドかさや」
では「あじさい園」を公開してお
り、ハナシヨウブとアジサイを一
緒に見て回るのも梅雨の一日の素
敵な過ごし方だ。

開園は午前9時から午後5時。期
間中は無休。入園料は中学生以上
900円▽小学生400円。中国
自動車道・神戸三田インターから
北へ約30分。問い合わせは同園(0
79・566・0666)。



白や紫の大輪のハナシヨウブが咲きそろそろ。今週末が見ごろという。
公開は7月上旬まで

